

○事業所名	キノコにじいるクラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和6年12月23日		～ 令和7年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職が中心となり子どもの機能から生活、遊びの評価を行い、保育所等訪問支援を通して具体的にサポートをしています。関係機関との連携を図り研修会の開催など知識の共有を図っています。	子どもの支援を専門的視点で見ているように定期的に研修を行い(実践研修等)、それらを保護者とも共有しサポートしています。	研修やコミュニケーションを充実し、より精度を高めていきたいと考えます。
2	子どもたちは集団生活を園や学校で取り組んでいるため、私たちの事業所では敢えて個別の課題を中心にアプローチしています。子どもの能力を引き出しながら集団の生活になるべく支障が出ないようにサポートしています。	個別療育の際の評価をスタッフで定期的に共有しながら支援を組み立てています。	訪問にも同席し、集団での様子も各職員が見ながら通所支援で何ができるかを明確にし、取り組んでいきたいです。
3	ペアレントトレーニングを中心に行い保護者との関係性を築きながら子どもの支援を自宅でも行ってもらえるように共有しています。また面談を通してより関わりを深めていけるように見立てなども共有しています。	保護者にも支援に入ってもらい、そこで子どもの行動や言動などの見立てや評価を都度共有しています。	保護者とのコミュニケーションを図りながらより具体的な支援を展開していきたいと考えます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遠方の送迎やレスパイト的な支援ができていない。	地域には他にレスパイト支援を行っている事業所があるためあえて個別専門性を高める支援を実施しています。	今後も他の事業所と連携を図り、役割を明確化していければと考えます。
2	スタッフ自身が他の発達支援事業所を知らないことで、他事業所との比較ができないこと。	発達支援事業所からの転職が少ないため。しかし、病院や学校、保育園などの経験を活かして多角的な事業所運営をしています。	他の仕事から学んだ強みを子どもの支援に生かしたり、他事業所への見学研修などを勤めていきたいです。
3	様々な専門性が違うことにより若干見立てを整えていくのに時間を要することがある。	それぞれの経験値で評価している部分もある。	研修や職員間のコミュニケーションを通して、子どもの見立てをそろえて行けるようにしたいと思います。